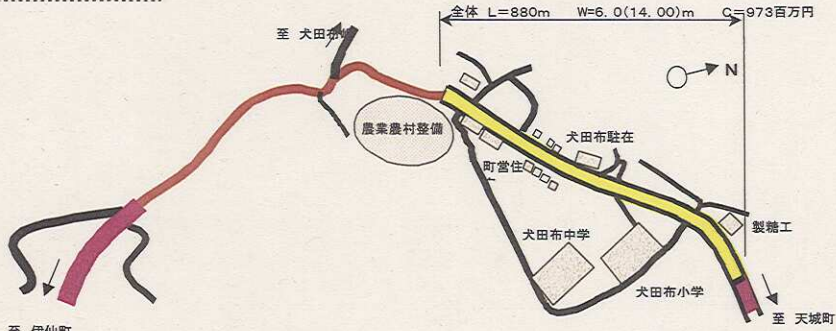


新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	主要地方道 伊仙天城線 犬田布工区	事業区分	主要地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県大島郡伊仙町犬田布地内 至：鹿児島県大島郡伊仙町犬田布地内		延長	0.88 km	
事業概要	<p>主要地方道伊仙天城線は、徳之島の伊仙町と天城町を南北に結び、徳之島空港に通じる重要な幹線道路であり、災害時における第一次緊急輸送道路である。今回の計画区間である犬田布工区は、犬田布集落内を通過する幅員狭小かつ一部平面・縦断線形不良の隘路区間を解消することで、第一次緊急輸送道路及び犬田布小中学校の通学路でもある同区間の通行車両及び歩行者の安全で円滑な交通の確保を行うとともに、伊仙町から天城町や徳之島空港へのアクセスを含んだ利便性・防災の確保を目的とする延長0.88kmの2車線道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>現道幅員は5mから6m程度と狭小であり歩道施設もないことから、通行車両の離合や犬田布小中学校の通学や地域住民の歩行など、走行性や安全性などに支障を来している。また、当路線は、起点部に農業農村整備事業の実施や、中間部に製糖工場がある為、サトウキビ運搬等の大型車交通量も多く、歩行者、特に児童や高齢者の安全性を確保する必要がある。又、徳之島空港から犬田布岬等の景勝地への観光ルートであり、災害時における第一次緊急輸送道路でもあることから、安全で円滑な交通の確保及び利便性の向上を図り地域の活性化に大きく寄与するものである。</p>				
全体事業費	9.7 億円	計画交通量	5,700台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見  
 当地区内には、町営住宅や犬田布小学校・中学校が県道に隣接しており、児童の登下校時には歩道がないことと、サトウキビ運搬車等の大型車交通量も多く大変危険な状態である。  
 このため平成16年10月に地区住民(伊仙町犬田布中央通り県道拡幅推進委員会)から早期改善の陳情書や、徳之島地区交通安全協会や犬田布小中学校のほか島内各団体連名による要望書(平成16年10月)が提出されている。

事業採択の前提条件  
 費用対便益：便益が費用を上回っている。(B/C=1.8)  
 円滑な事業執行の環境：地域住民による県道拡幅推進委員会が設立されるなど地域における事業受入の熟度が高まっているため円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

担当課：九州地方整備局 地域道路課  
 担当課長名：世利 正美

費用対便益	B/C	1.8	総費用：8.8億円 事業費：8.1億円 維持管理費：0.72億円	総便益：16億円 走行時間短縮便益：16億円 走行費用減少便益：0.13億円 交通事故減少便益：0.00億円	基準年：平成18年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価	根拠		
	渋滞対策	-			
	事故対策	△	【その他の特徴】平成13年度～平成17年人身事故 2件 負傷者2名		
	歩行空間	○	犬田布小中学校の通学や、地域住民の歩行の安全が確保され、集落内の移動など利便性が高まる。		
	住民生活	○	交通の隘路区間を整備することで住民の安全な交通の確保が図られ、住民の利便性が高まる。		
	社会全体への影響	○	伊仙町から天城町や徳之島空港へのアクセス向上が図られ、陸上交通の利便性が向上することにより、サトウキビを主体とする農水産業の活性化や、島内の各景勝地へ連絡強化など地域経済の活性化が期待される。		
	災害	○	第一次緊急輸送道路である。		
	環境	○	現道の拡幅工事であり、自然環境に配慮した道路整備を行うことで環境への影響は少ない。		
	地域社会	○	安全で円滑な交通の確保により徳之島の地域産業の振興に大きく寄与する。		
	事業実施環境	○	当区間は伊仙町中心部と徳之島の空の交通拠点である徳之島空港をアクセスする道路にも関わらず、幅員狭小等の隘路が残されている。当地区内には、犬田布小学校・中学校が県道に隣接し、児童の登下校時など歩道がないことと、サトウキビ運搬車等の大型車交通量も多く危険な状態であるため、平成16年10月に地区住民(伊仙町犬田布中央通り県道拡幅推進委員会)から早期改善の陳情書や、徳之島地区交通安全協会や犬田布小中学校のほか島内各団体連名による要望書(平成16年10月)が提出されている。		

採択の理由

費用対効果が1.8と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていることから事業採択の前提条件が確認できる。また、本事業の整備により、交通隘路区間の解消により、通行車両及び歩行者の安全で円滑な交通の確保が可能となる。さらにサトウキビを主体とする農水産業の活性化や観光ルートを確立させることにより観光産業の支援が図られるなど地域経済への効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。